

1人1回30分

“生きている本”との対話から生まれる「相互理解」

TACHIKAWA Human Library

～ヒューマンライブラリー@立川～



読者と“生きている本”、仲介役となる司書による対話の様子。原則1対1の対話ですが、一部の本は1対複数による「ミニ読書会」も開催します。

【ヒューマンライブラリーとは】

各種障害や依存症といった“偏見や差別を受けやすい”人々を『生きている本』に見立て、ページをめくるようにその方の経験や価値観を生声として聴く企画です。『生きている本』との対話を通し、多様な価値観に触れるきっかけとして継続的に開催しています。

【日 時】平成31年1月19日(土)

■前半(1部・2部)受付12:30～ (1部/13:10～13:40、2部/13:50～14:20)

■後半(3部・4部)受付14:30～ (3部/14:40～15:10、4部/15:20～15:50)

■“生きている本”との振り返り交流会 16:05～

※時間内の出入りは自由ですが、貸出の受け付けは先着順です。


【会 場】立川市総合福祉センター(立川市富士見町2-36-47)

【申し込み】不要。当日、直接会場にお集まりください。


主催：立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ


【本の種類(予定)】


※当日、標記の本が貸し出しできない場合がございます。


 元路上生活者


 視覚障害当事者

 障害のある子どもを育てる母


 引きこもり経験者


 元アルコール依存症


 元薬物依存症患者


 身体障害当事者

 知的障害・発達障害

 LGBT当事者

 愛着障害当事者

 聴覚障害の親を持つ健聴の子ども

 オストメイト当事者

and more...

※12月中旬ごろ、ホームページにて当日参加する『生きている本』の紹介をします。

☆ちよこっとあらすじ紹介☆



Nさん
(CODA=聴覚障
害の親を持つ
健聴の子ども)

“CODAの揺れる感情”
聞こえない親が大嫌い。親には感謝しているけど、通訳は面倒。親は守る存在、だけどいい子じゃない。賞賛の対象でもない。聴覚障害の世界と、聞こえる社会との狭間を歩む、私と私たちの物語です。

“愛着障害で生きてゆく”

30年以上、人間恐怖による「うつ」と「引きこもり」に苦しんできました。1年かけて検証し、心底納得し、安心しました。できないことをやろうとしていたことに気づきました。こんな自分が人間社会を生き抜いていく方法をお話したいと思います。

Sさん
(愛着障害)



【問合せ・ご連絡先】

立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ(担当:森・小林)

電話:042-529-8323 / FAX:042-529-8714

E-mail shimin@tachikawa-shakyo.jp

WEB <http://www.tachikawa-shakyo.jp/skct/>



市民活動センターたちかわ
ホームページ